



Make Things Intelligent

あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

2024年6月期 通期決算説明資料

フィーチャ株式会社（東証グロース4052）

2024年8月14日

1. 業績ハイライト
2. 2024年6月期（通期）決算概要
3. 各事業の進捗状況
4. 業績予想と今後の成長戦略

Appendix

本資料の数値はすべて連結ベースで記載しております。

Make Things Intelligent

あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

1. 業績ハイライト

2. 2024年6月期（通期）決算概要

3. 各事業の進捗状況

4. 業績予想と今後の成長戦略

Appendix

**Make Things
Intelligent**

あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

売上高 過去最高を更新

- ✓ 売上高494百万円（前期比+26.8%）と過去最高を記録
- ✓ 受託開発収入は、ボッシュ(株)との資本業務提携の効果もあり、316百万円（前期比+83.2%）
- ✓ ライセンス収入は、前期に一括売上計上の契約があったものの、当期は発生が無かったため、177百万円（前期比△18.2%）

赤字幅縮小

- ✓ 今後の事業拡大のため、エンジニアを中心とした人材投資、開発環境構築のためのオフィス増床に伴う家賃や減価償却費等の先行コストの増加はあったが、売上高が大幅増となったため、赤字幅縮小

量産案件進捗

- ✓ 新規ドラレコ2案件の量産が当第1四半期より開始
- ✓ 当社ライセンス製品の累計量産台数は250万台を突破

大手取引先との パートナーシップ構築

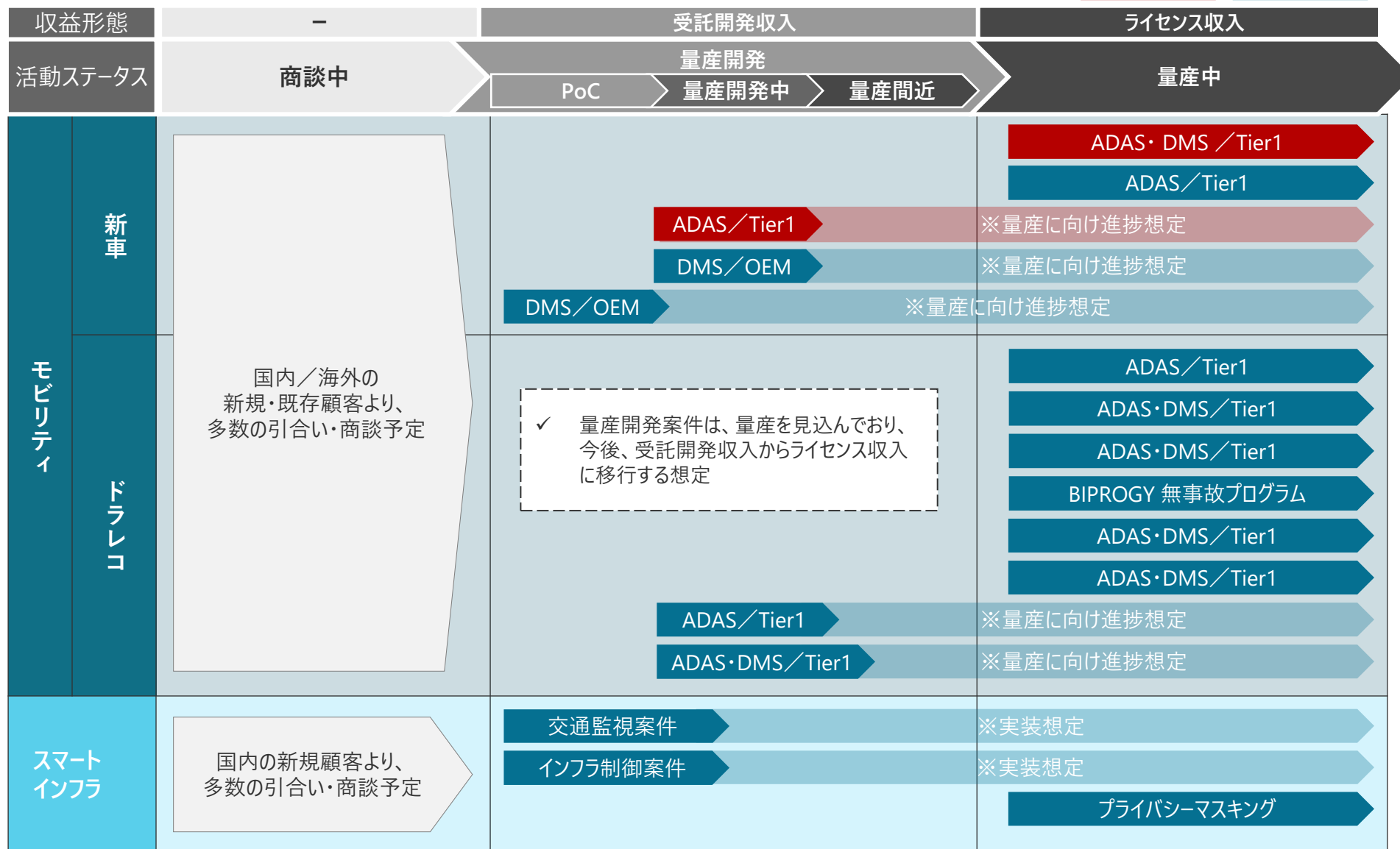
- ✓ ボッシュ(株)との資本業務提携により、共同開発を開始
- ✓ 大手自動車メーカーとの中長期の共同開発契約の手続が進行中

主な量産案件進捗状況

量産案件を複数開発中、長期的なライセンス収入の積み上げを実現

海外案件

国内案件



✓ 量産開発案件は、量産を見込んでおり、今後、受託開発収入からライセンス収入に移行する想定

1. 業績ハイライト
2. 2024年6月期（通期）決算概要
3. 各事業の進捗状況
4. 業績予想と今後の成長戦略

Appendix

Make Things Intelligent

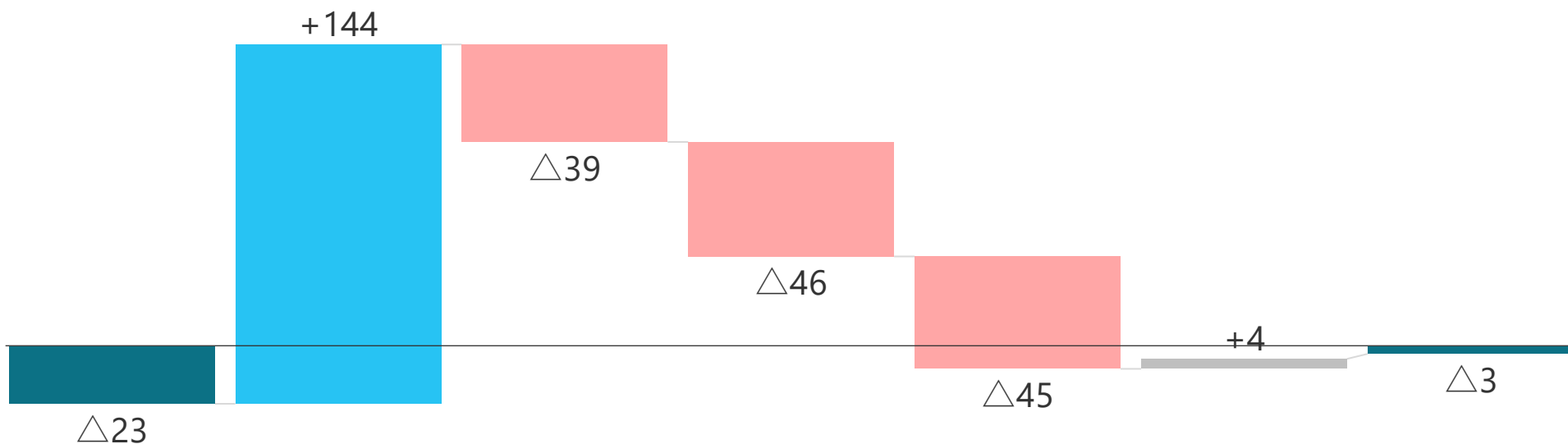
あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

(単位：百万円)

	2023年6月期	2024年6月期			
	前期実績	当期実績	前期比	当期予想(※)	予想比
売上高	389	494	+26.8%	475	+3.9%
うち、受託開発収入	172	316	+83.2%	301	+5.2%
うち、ライセンス収入	216	177	△18.2%	174	+1.6%
売上原価、販管費	412	497	+20.6%	502	△1.0%
うち、人件費	258	304	+17.7%	306	△0.5%
うち、経費	154	199	+29.3%	201	△0.8%
うち、仕掛品振替	0	△5	—	△4	—
営業利益	△23	△3	—	△27	—
経常利益	△25	△2	—	△27	—
親会社株主に 帰属する当期純利益	△28	△7	—	△30	—

オフィス増床等の先行投資があったものの、受託開発収入の大幅増加により赤字幅縮小

(単位：百万円)



2023年6月期
営業利益

受託開発収入
の増加

ポッシュ(株)との
業務提携等の影響

ライセンス収入
の減少

前期一括計上売上
による影響

人件費の増加

昇給及び増員

経費の増加

オフィス増床による
賃料負担等の増加

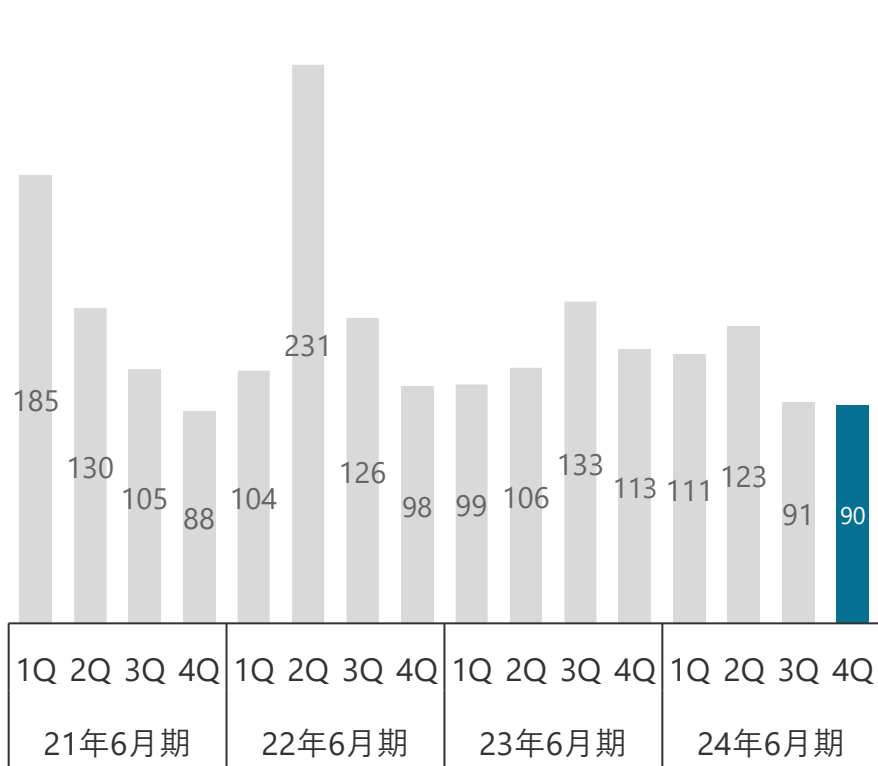
仕掛品振替

前期案件との納期の違い

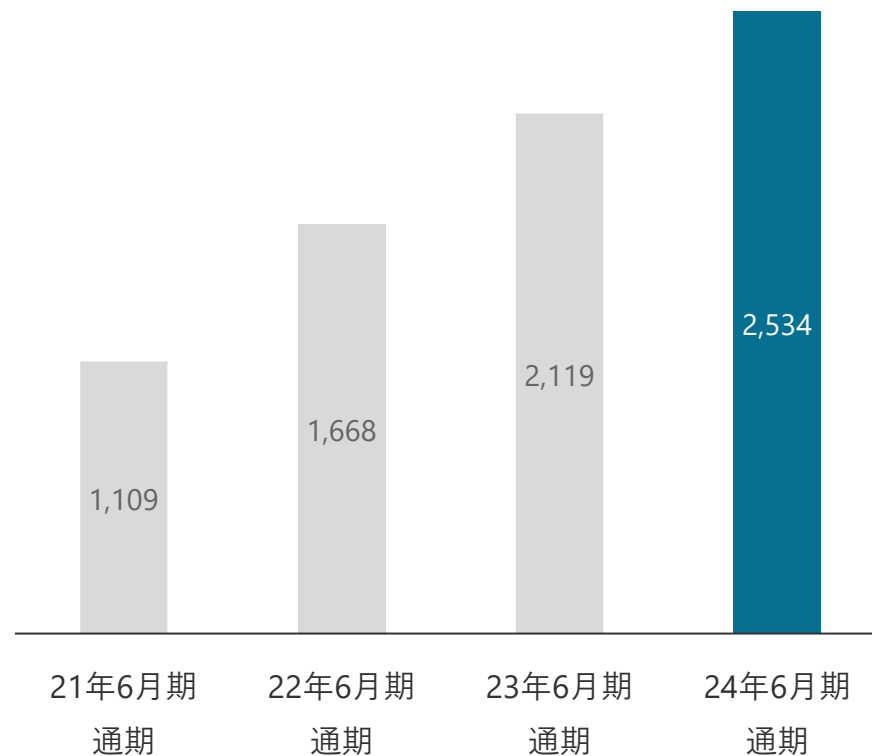
2024年6月期
営業利益

搭載台数は横ばいだが、一部取引先においてボリュームディスカウントにより単価減

四半期別量産台数 (千台)



累計量産台数 (千台)



自己資本比率90%以上と高い財務健全性を維持

(単位：百万円)

	2023年6月期末	2024年6月期末	
	前期実績	当期実績	前期末との差異
流動資産	504	698	+193
現金及び預金	416	578	+161
売掛金及び契約資産	66	93	+27
その他	21	26	+4
固定資産	86	69	△17
資産合計	591	768	+176
負債合計	42	38	△4
純資産合計	548	729	+181
負債・純資産合計	591	768	+176

ボッシュとの資本業務提携による資金調達を実行

(単位：百万円)

	2023年6月期	2024年6月期	
	前期実績	当期実績	前期との差異
営業活動によるキャッシュ・フロー	1	△18	△20
税金等調整前当期純利益	△25	△2	+22
償却費	7	18	+10
株式報酬費用	21	8	△12
売上債権の増減額	△8	△27	△18
その他	6	△16	△22
投資活動によるキャッシュ・フロー	△55	△9	+46
財務活動によるキャッシュ・フロー	△0	+186	+186
現金等の換算差額	0	3	—
現金等の増減額	△54	+161	—
現金等の期末残高	416	578	+161

1. 業績ハイライト
2. 2024年6月期（通期）決算概要
3. 各事業の進捗状況
4. 業績予想と今後の成長戦略

Appendix

Make Things Intelligent

あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

モビリティ事業を主軸に、スマートインフラ事業やDX事業まで幅広く展開

モビリティ事業

過去10年超にわたり、車載カメラ及びドラレコ向けの画像認識ソフトウェアを開発。低計算コストかつ優れた精度、カスタマイズ性により、多数のTier1、OEM、ドラレコメーカーに採用。



スマートインフラ事業

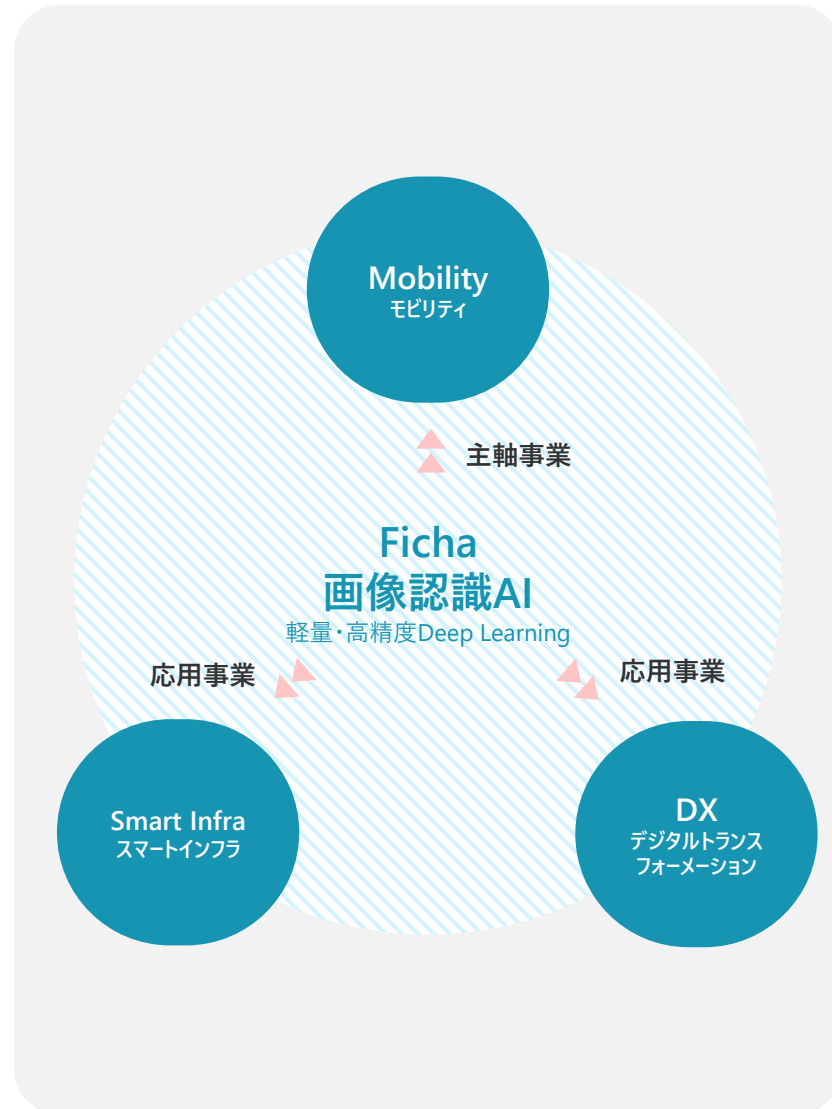
モビリティ事業で培った技術をインフラ向けに応用。スマートシティの実現に向けたインフラに関する様々なニーズに対応。



DX事業

競争力の高い物体検出アルゴリズムをベースに開発された高精度AI-OCRや、軽量でマルチモーダルなLLMにより、DXビジネスを拡大。

納品期限	令和3年 12月 1日	納品場所	〒170-6019 東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイ 6019F		
商品コード	商品名	単位	数量	単価	金額(税込)
8R2F12	ホワイトボード		20	¥1,000	¥2,200
4678Q	椅子	5	5	¥200	¥1,000
8W54H	A型バリケード		1	¥3,250	¥3,250
合計金額					¥6,750



ADASとDMSのラインナップが充実 大手取引先との提携により、更なる規模拡大を目指す

Point 1

「軽量」かつ「高精度」

- KITTI* ベンチマークテスト **歩行者検出第1位**
- ロ-エンドSoCで極力 **低演算コスト** でADAS機能の量産実装

Point 2

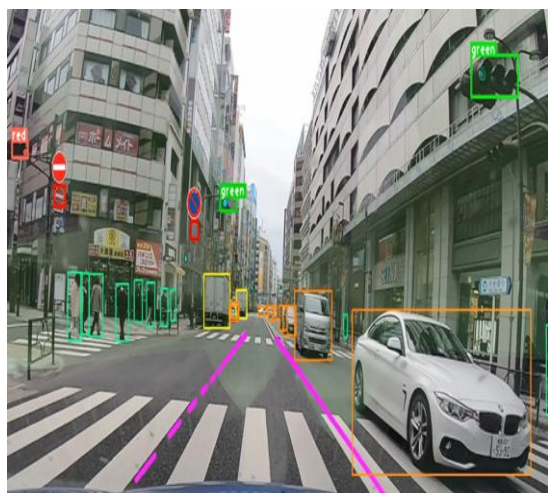
豊富なAIモデル、ビッグデータを保有

- 撮影画像等のビッグデータを有しており、少ない顧客データで **効率的な開発が可能**
- 顧客ニーズに応じ最適な技術提案と **カスタマイゼーション**

Point 3

多数の量産実績

- 累計ライセンス台数 **250万台** を突破
- 今後も複数案件の量産開始を予定



種類	検知対象	機能	
製品ラインナップ一例	ADAS	車両検知	前方車間距離 衝突警報 低速時追突警報
		車線検知	車線逸脱警告、ふらつき検知
		横断歩道検知	一旦停止無視
	DMS	歩行者検知	信号無視検知
		信号検知	速度超過警告 一時停止不停止、信号無視検知
		標識認識	居眠り運転検知
目状態推定		脇見運転検知	
	顔向き推定	携帯電話操作/通話検知	
	危険動作検知	喫煙検知	
	顔認識	運転手の顔認証	

* 世界最大規模の車載用ベンチマークテスト「The KITTI Vision Benchmark Suite」2020年4月時点

スマートシティの実現に向け、画像認識技術の需要拡大

交通監視やインフラ制御など、複数の案件が進行中

Point 1

モビリティ技術の応用

- モビリティ事業で培った豊富な開発実績や技術・ノウハウをインフラ向けへ応用【ADAS技術】交通監視、インフラ制御、人流解析 etc.
- 【DMS技術】個人認証、デジタルサイネージ etc.

Point 2

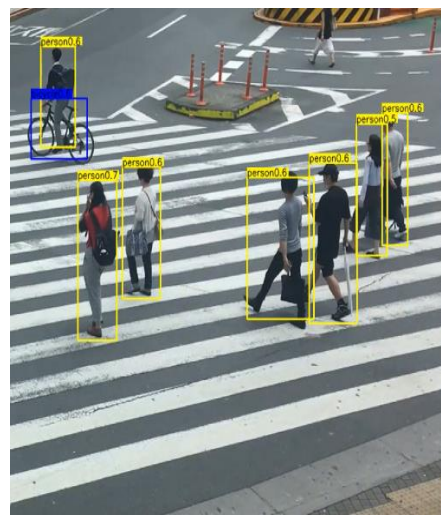
プライバシーマスキング

- ビッグデータ解析にあたり取得・保管するプライバシー情報への配慮が必要
- 顔やナンバープレートに自動でモザイク処理する自動マスキング技術を保持

Point 3

高性能なエッジAI

- 高性能なAIモデルを低スペックなエッジデバイスに実装することが可能
- 解析後の映像データを保存せず、個人情報漏洩リスクを低減



LLMを活用した独自技術で実用的なソリューションを提供 様々な業界へライセンス提供中、新たな収益の柱を目指す

Point 1

活字/手書き文字を高精度で認識

- 文字領域を高精度なOCR技術で自動検知
- 最先端の文字認識アルゴリズムを活用
- 大規模な学習データセットで学習

Point 2

事前設定不要な項目抽出機能

- 事前設定不要で指定した情報（品番、取引先名、金額など）を**自動抽出**
- 帳票内の**表形式部分**も自動で読取・出力可能

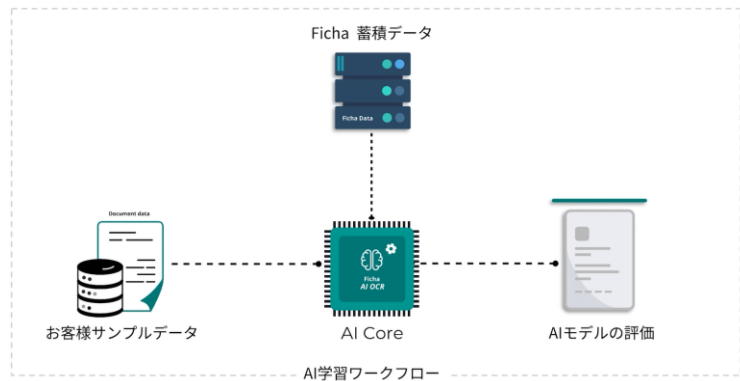
Point 3

顧客ニーズに応じたカスタマイズ

- 特有のフォーマットや非定型書類の精度向上のためAIモデルを**専用学習**
- 読取後のデータ加工、出力方法についても、ニーズに合わせたアプリケーション開発・設計が可能

顧客毎の専用カスタマイズ

- 顧客ごとに専用カスタマイズを行うことで、汎用モデルでは実現できなかった精度を実現



ライブラリ提供モデル

- オンプレミス環境で動作可能なため、セキュリティ要件の厳しい環境でも使用可能
- RPAや社内システムへのシームレスな連携が可能

収益構造



1. 業績ハイライト
2. 2024年6月期（通期）決算概要
3. 各事業の進捗状況
4. 業績予想と今後の成長戦略

Appendix

Make Things Intelligent

あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

2025年6月期業績予想

- 受託開発収入は、大手取引先との共同開発案件により増収見込み
- ライセンス収入は、一部取引先においてボリュームディスカウントによる単価減少が見込まれることから減収見込み
- 生成AI技術への研究開発投資を加速

(単位：百万円)

	2024年6月期	2025年6月期	
	当期実績	翌期予想	当期比
売上高	494	558	+12.9%
うち、受託開発収入	316	390	+23.1%
うち、ライセンス収入	177	167	△5.3%
売上原価、販管費	497	555	+11.7%
うち、人件費	304	347	+14.2%
うち、経費	199	208	+4.5%
うち、仕掛品振替	△5	—	—
営業利益	△3	2	—
経常利益	△2	2	—
親会社株主に帰属する当期純利益	△7	1	—

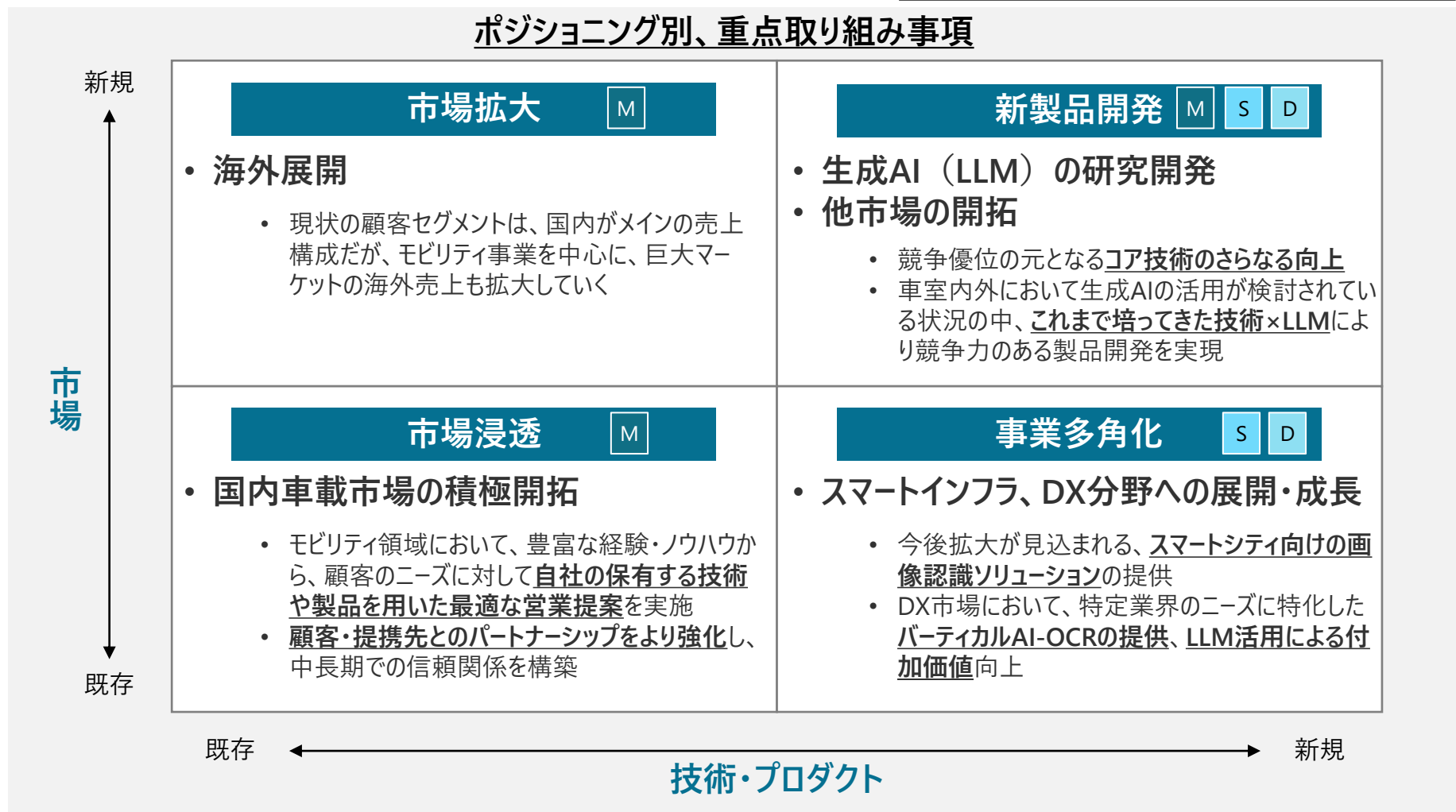
今後も拡大する画像認識ソフトウェア市場において、当社の技術力を通じて、開発/販売を加速し、事業拡大と高い成長性を継続

モビリティ事業
M

スマートインフラ事業
S

DX事業
D

ポジショニング別、重点取り組み事項



1. 業績ハイライト
2. 2024年6月期（通期）決算概要
3. 各事業の進捗状況
4. 業績予想と今後の成長戦略

Appendix

Make Things Intelligent

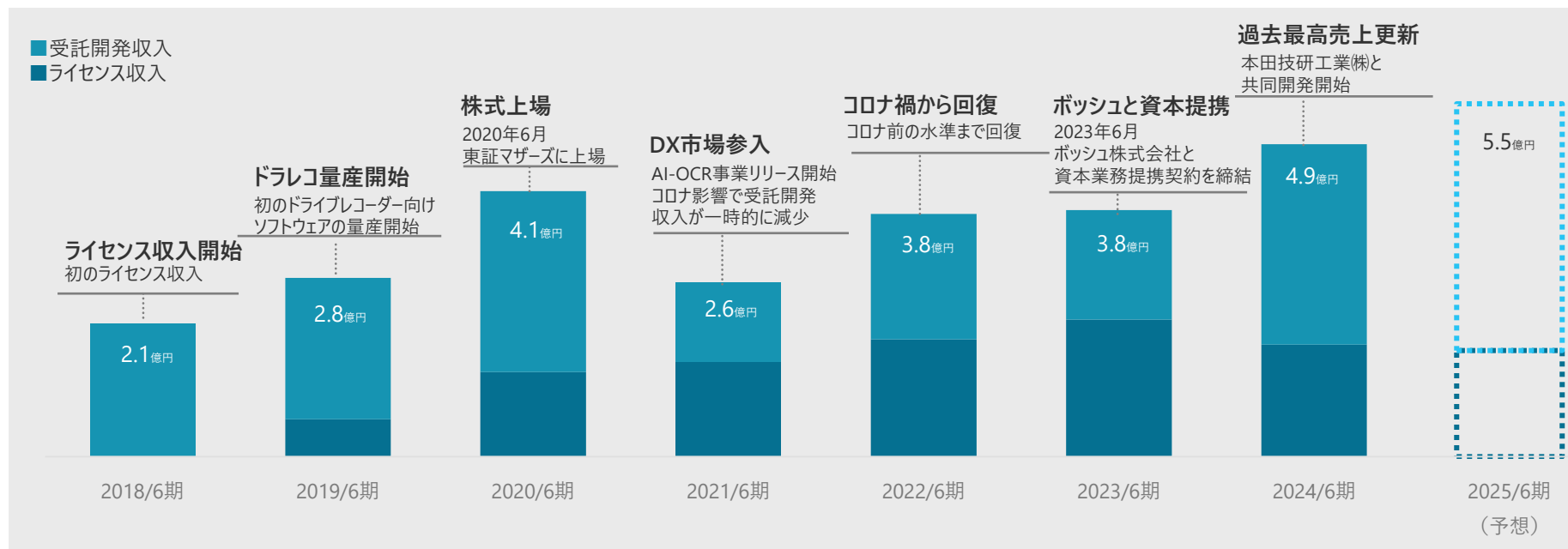
あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

社名	フィーチャ株式会社
代表者	代表取締役社長CEO兼CTO 曹暉
住所	東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 19F
創業年月	2005年8月
資本金	383,506千円 2024年6月末現在
従業員数	45名（非正規 14名） 2024年6月末現在
事業内容	画像認識AIソフトウェア開発 / 販売

Make Things Intelligent

あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、

スマート社会の安全や安心、効率に貢献します



- 2019年からモビリティ関連の量産開始、現在までに累計ライセンス台数250万台を突破
- OEM、Tier1とのパートナーシップをはじめとした、複数顧客との共同開発を実施
- 2020年から、事業多角化を見据え、応用技術の活用によるスマートインフラ事業やDX事業に参入

→ 当社の技術力や実用性が評価され、ライセンス台数・顧客数ともに着実に拡大中



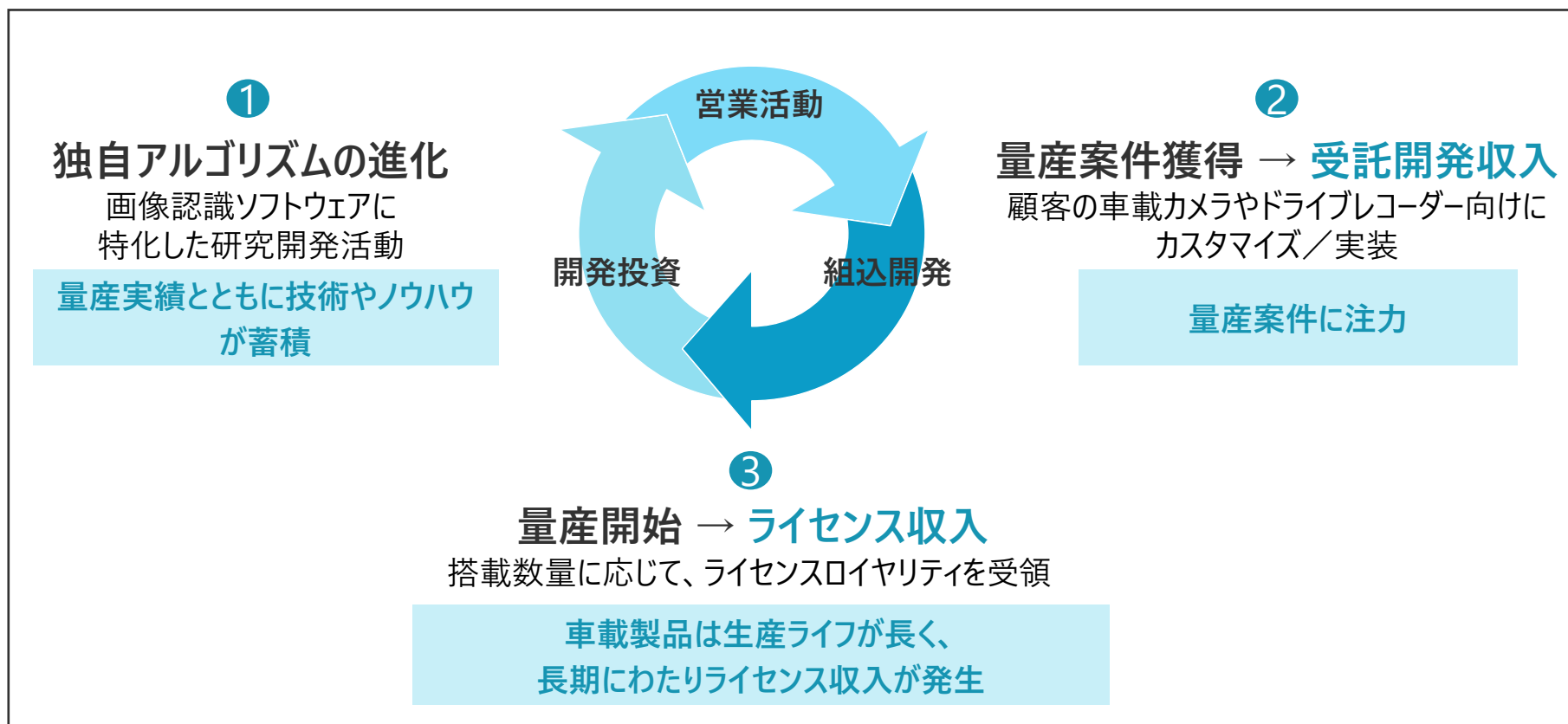
- 国内外の自動車メーカー量産案件に、当社技術提供済み
- 現在も複数のADAS及びDMS案件が量産開発中

※各年度、6月決算

量産中 案件	No.	1	2	★ 3	4	5	★ 6	7	8
	取引先	国内Tier1	BIPROGY(株)	海外Tier1	国内Tier1	国内Tier1	国内Tier1	国内Tier1	国内Tier1
	案件概要	ドラレコ用 ADAS	ドラレコ用 ADAS	車載カメラ用 ADAS・DMS	ドラレコ用 ADAS・DMS	ドラレコ用 ADAS・DMS	車載カメラ用 ADAS	ドラレコ用 ADAS・DMS	ドラレコ用 ADAS・DMS
	開始時期	2019	2019	2019	2020	2021	2021	2023	2023
継続有無	全案件 契約継続中				→				

- 量産案件に注力した活動プロセスによって、長期ライセンス収入の実現を推進
- 多数のライセンス製品を積み上げていくことで、加速度的な成長が可能な収益構造
 - ✓ 当社売上高のうち、約30%がライセンス収入（ライセンス収入の利益率100%）
 - ✓ 量産前提案件に注力し長期的なライセンス収入を狙う（量産案件の車載製品はライフサイクルが長い）

$$\text{売上高} = \text{受託開発収入} + \text{量産台数} \times \text{ライセンス単価}$$

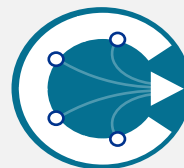


フィーチャは“お客様の中長期開発パートナー”として、お客様のビジネス目標の実現や中長期的な技術開発に貢献します



軽量・高性能な 画像認識技術

世界規模のベンチマークテストで1位
を取得した高い技術力×ローエンド
SoCでも搭載可能な実装性



10年以上のADAS 量産開発経験とノウハウ

多数の量産開発実績、蓄積された
ノウハウを駆使し、信頼性の高いソ
リューションをご提供



顧客ニーズに応じた 迅速な対応力

長年培ってきた経験からお客様の
課題・ニーズに対して最適な技術提
案とカスタマイゼーションが可能



多国籍なアルゴリズム、 組込エンジニアチーム

多国籍かつ多様性に富んだエンジ
ニアチームを擁しており、世界中から
優秀なエンジニアが集結

当社グループは、持続可能な開発目標（SDGs）達成のために、社会貢献が不可欠であると認識しています。現在、SDGsの全17ゴールのうち、特に関連が深い、以下の2ゴールを優先ゴールとして特定しています。



✓ 当社ソフトウェアを世に広め安心・安全に貢献

世界的なエコロジ-社会の形成の一環として、自動運転に注目が集まっており、当社グループとしても、画像認識技術に更に磨きをかけ、社会の安全性や快適性及び効率化に貢献していきます。

✓ 次世代技術の開発促進

世界的な技術の発展の潮流の中、当社グループとしてもイノベーション創出機会の促進に向け、社内の研究開発の環境づくり、外部ステークホルダーとの連携に注力していきます。

(単位：百万円)

	2023年 6 月期				2024年 6 月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	77	84	145	82	90	129	161	112
うち、受託開発収入	42	42	50	36	44	77	118	76
うち、ライセンス収入	34	41	94	45	46	51	43	35
※売上原価	26	26	28	23	23	43	51	43
売上総利益 (粗利率)	50 65.4%	57 68.2%	116 80.2%	59 71.9%	67 74.1%	85 66.1%	109 67.9%	68 60.8%
※販管費	63	65	70	107	92	81	75	84
うち、研究開発費	23	19	24	45	33	27	24	30
営業利益 (営業利益率)	△12 -	△8 -	45 31.6%	△47 -	△25 -	3 2.9%	34 21.1%	△16 -

※原価 + 販管費合計	90	92	99	130	116	125	127	128
うち、人件費	61	62	64	69	73	73	77	79
うち、経費	31	35	32	55	53	49	47	49
うち、仕掛品振替	△1	△5	2	4	△10	2	3	△1

本資料は、当社の業界動向及び事業内容について、現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望についても言及しております。

これらの将来展望に関する表明の中には、さまざまなリスクや不確実性が内在します。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。

当社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。

本資料における将来展望に関する表明は、本資料公表日現在において利用可能な情報に基づいて当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来展望に関するいかなる表明の記載も更新し、変更するものではございません。

IRに関するお問い合わせ先

フィーチャ株式会社 管理部

E-Mail : management@ficha.jp